



雄志中 HP

挑戦! 雄志魂

ルールの意味

校長 中野 博史

教師経験が浅かったころ、生徒指導の大ベテランの先生から「問題が起きたからといって、すぐに新しいルールを作るのは無意味だ」と教わったことがあります。その時、「同調性が強いため、人はルールに従うのではなく雰囲気に従うから」と説明されました。それ以来、最低限のルールの中で、そのルールを守らなければいけない雰囲気を作る（醸成する）ことを常に心掛けて、学級経営や生徒指導をしてきました。

おそらく、ある程度の人生経験のある大人であれば、「ルールを破っても自分に悪影響やペナルティがなければ、人は安易にルールを破る」ということを、私たちの誰もが自らの経験を通して理解しているのではないのでしょうか。

さて、話は変わりますが、雄志中学校では年度初めのオープン・スクールの授業で、親子で家庭のメディアルールを作ったり、確認をしたりする機会を設けています。生徒の皆さん、そのルールを守っていますか。保護者の皆さん、お子さんはそのルールを守っていますか。後期の学校評価で、「メディアの使用時間を意識し、規則正しい生活を送っているか」という項目の評価結果は、生徒評価と保護者評価に数値の開きはありますが、前期と同様、どちらも相対的に肯定的評価が低い結果でした。特に保護者評価は著しく低く、家庭のメディアルールが機能していない現状が伺えます。

先日、『「1日6時間ゲームする子」に親ができること』というインターネット上の記事※に出会いました。著者の石田勝紀氏（教育デザインラボ代表理事、教育専門家）は、家庭は以下の通りにいくつかのタイプに分類されると指摘しています。

A 家庭で約束事（ルール）を作る家庭と作らない家庭がある

B 家庭で約束事を作っても、ペナルティを決めている家庭と決めていない家庭がある

C ペナルティを決めていても、それを実際に実行する家庭と実行しない家庭がある

さて、皆さんの家庭はどのタイプでしょうか。著者は、ルールが機能していない家庭に対し、次のことを推奨しています。

あらためて、なぜ今の状況が問題であるのか冷静に話し合う。その中で、①ルール、②ルールが守れなかったときのペナルティ、③もしペナルティを実行するときに、子どもがそれを受け入れないことがあったときどうするかを子どもに決めさせる。これらを紙に書かせて掲示したり、宣言している姿を動画で撮影したりし、しっかりと、保護者が子どもにルール順守させたり、ペナルティを実行したりしていく。

次頁に、後期学校評価の結果を掲載しました。この機会に、親子で今の家庭生活の現状を確認したり、生活習慣の改善策を一緒に考えてみたりしてみませんか。

※東洋経済オンライン (<https://toyokeizai.net/articles/-/184655>)

<後期学校評価>

- 肯定的評価の割合 80%以上 
- 前期比 +5  前期比 -5 

【生徒アンケートの結果】

No	項 目	1 年	2 年	3 年	全校	R6前期	増減
6	係活動や給食当番や清掃活動で、助け合い、協力できた。	100.0	98.4	100.0	99.2	97.6	1.6
8	日常生活や学校行事を通して、集団の一員として、仲間との連帯感を高めることができた。	96.7	100.0	97.1	98.4	96.8	1.6
18	学校は楽しい。	96.7	98.4	94.1	96.8	94.4	2.4
5	自分も相手も大切にして互いに意見を伝え合うことができた。	96.7	96.7	94.1	96.0	92.7	3.3
13	自分や友達の人権を守るために、よく考え、正しく判断し、思いやりをもった言動をすることができた。	90.0	100.0	94.1	96.0	96.0	0.0
10	道徳や総合的な学習の時間で学んだこと、体験したことを通して、自分の生き方についての考えを深めることができた。	90.0	96.7	94.1	94.4	91.9	2.5
7	生徒会目標達成に向けて、自分の役割を果たすことができた。	90.0	95.1	88.2	92.0	91.9	0.1
14	友達や家族、地域の方に自分から進んであいさつすることができた。	90.0	90.0	88.2	90.4	93.5	-3.1
9	地域の一員として、中学校の諸活動で学んだことを通して地域や社会に貢献しようとした。	86.7	88.5	94.1	89.6	87.1	2.5
12	学習や体験活動、道徳等で学んだこと、体験したこと、気付いたことを、日常生活に生かすよう心がけた。	76.7	95.1	91.2	89.6	87.1	2.5
4	授業で「よく分かった」「よくできた」と実感できた。	83.3	93.4	85.3	88.8	91.1	-2.3
11	道徳や総合的な学習の時間での学習活動を通して、地域や社会に貢献できた。	76.7	90.2	91.2	87.2	84.7	2.5
17	体育の授業で、自分の体力向上を目標の1つにして取り組んだ。	76.7	90.2	88.2	86.4	85.5	0.9
3	雄志授業スタイル(学びの心得7箇条)を、実践できた。	76.7	88.5	88.2	85.6	86.3	-0.7
15	学校のある日は、23時までの就寝を心がけ、十分な睡眠をとるようにした。	64.5	83.6	64.7	73.8	74.8	-1.0
1	定期テストに向けて計画的に学習に取り組むことができた。	56.7	80.3	76.5	73.6	73.4	0.2
16	メディアの使用時間を意識し、規則正しい生活を心がけた。	46.7	80.3	67.6	68.8	68.5	0.3
2	毎日70分以上(1年)・80分以上(2年)・90分以上(3年)、学習できた。	40.0	73.8	61.8	62.4	58.1	4.3

後期の学校評価にご協力いただきありがとうございました。結果の概要及び当校の学校課題について、報告します。

2学期を振り返ってみますと、1学期と同様に学校全体としてはとても落ち着いており、いい雰囲気の中で、年度当初の計画通りに教育活動を実施することができました。後期の生徒アンケートの結果では、96.8%の生徒が「学校生活が楽しい」と回答しました。2学期は体育祭や音楽祭など、学校行事が多く、ほとんどの生徒が充実した学校生活を楽しく過ごすことができたようです。しかしながら、実際は、学校に足を運べない生徒も、昨年度同様に一定数いますので、学校に馴染めない生徒の支援策や対応策を拡充させていくことが今後も大きな学校課題であると考えています。

また、前期と後期の学校評価を比較し、肯定的評価の割合が大きく増えた項目が、保護者アンケートの「本校の教職員は生徒に温かく、また時には生徒のために厳しく、適切に接していると思われませんか」「本校は、より良い学校づくりに、熱意をもって努力していると思われませんか」の2つです。保護者の自由記述でも、「担任の先生のサポートが本当にありがたかったです」「学校生活を楽しんでおります。熱心に指導してくださるので大変感謝しております」などのお言葉をいただきました。一方で、進路に関する情報や高校入試に向けての学習指導が不十分であるとのこと指摘や、校舎の和式トイレの洋式トイレへの改修要望などについて、ご意見をいただきました。今後、進路に関する情報等については、3年生だけでなく、学校だより等でも発信していきたいと思えます。(トイレの改修については先月の学校だよりでお知らせした通り、改修時期は現時点では未定です。)

No	項 目	1年	2年	3年	全校	R6前期	増減	
3	本校の教職員は生徒に温かく、また時には生徒のために厳しく、適切に接していると思われますか。	93.1	92.1	89.7	91.7	86.5	5.2	↑
2	本校は、よりよい学校づくりに、熱意をもって努力していると思われますか。	89.7	89.5	86.2	88.5	84.4	4.1	
16	お子様は、毎朝、朝食を食べていましたか。	89.7	84.2	89.7	87.5	86.5	1.0	
1	お子様は、充実した学校生活を送っていると思われますか。	79.3	86.8	86.2	84.4	81.3	3.1	
6	生徒たちの授業や学校行事での様子について、十分な情報が得られていますか。	86.2	84.2	82.8	84.4	82.3	2.1	
5	お子様は、ルールやマナーを守る意識が身についていると思われますか。	79.3	76.3	86.2	80.2	86.5	-6.3	↓
4	お子様の適性や進路について、十分な情報が保護者に提供され、生徒・保護者を交えた相談が適切に行われていると思いますか。	89.7	63.2	82.8	77.1	79.2	-2.1	↓
15	お子様は、歯磨きや十分な睡眠など基本的な生活習慣が身についていると思われますか。	58.6	68.4	69.0	65.6	72.9	-7.3	↓
17	お子様は、学校のある日は、23時までの就寝を心がけ、十分な睡眠をとるようにしていましたか。	65.5	65.8	58.6	63.5	68.8	-5.3	↓
14	いじめや差別など、人権にかかわる話題について親子で話すことがありますか。	48.3	60.5	75.9	61.5	63.5	-2.0	
9	自分の個性や興味・関心を生かした進路の選択をしようとしていると思われますか。	55.2	57.9	69.0	60.4	59.4	1.0	
13	前日のうちに宿題を済ませ、授業に必要なものを準備していましたか。	47.1	52.6	62.1	53.5	62.5	-9.0	
8	お子様は、自分の将来の夢や目標を持っていると思われますか。	34.5	42.1	65.5	46.9	53.1	-6.2	↓
7	将来のために学習の大切さがわかり、意欲的に学習に取り組んでいますか。	41.4	39.5	58.6	45.8	56.3	-10.5	↓
10	定期テストに向け、計画的に学習していましたか。	24.1	44.7	65.5	44.8	60.4	-15.6	↓
12	きまった時間に学習に取り組んでいましたか。	31.0	28.9	51.7	36.5	46.9	-10.4	↓
11	毎日70分以上(1年)・80分以上(2年)・90分以上(3年)の家庭学習をしていましたか。	27.6	18.4	48.3	30.2	38.5	-8.3	↓
18	お子様は、メディアの使用時間を意識して生活していましたか。	17.2	15.8	41.4	24.0	28.1	-4.1	↓

生徒のアンケート結果については、前期と後期で大きな差は見られませんでした。保護者のアンケート結果では、8つの項目で前期より大幅に下がりました。下がった項目を見ると、就寝（睡眠）時間、家庭学習時間や取組態度など、家庭での生活態度の乱れを感じている保護者が増えていることが伺えます。「家庭学習時間」、「メディア利用時間」、「就寝時間（睡眠時間）」のバランスは、当校だけの問題ではなく、全国的な社会問題です。学校評価のアンケート項目にはありませんが、毎月実施している生活アンケートでは、ほとんどの生徒が平日のメディア使用時間を「3時間以上」と回答していますので、帰宅してから就寝するまでの時間の半分以上が、スマホによるSNS、インターネット上の動画の視聴、ゲームなどで費やされていることが伺えます。もしくは、睡眠時間を削ってまで、使用しているのかもしれません。このような姿からは、「学習の大切さを理解していない」「将来の夢や目標をもっていない」と保護者の皆様が感じて当然のことと思います。

学習指導要領が改訂され、今、学校現場では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性」の3つを柱とした教育課程を実施しています。「学びに向かう力、人間性」とは、児童生徒がどのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るかに関わる資質・能力であり、児童生徒が自分の特徴に気付き、よい所を伸ばし、自己肯定感をもちながら日々の学校生活を送ることができるように指導することとなっています。単に、高校進学が近づいたから勉強するというのではなく、日々の学校生活の様々な学びの中で、将来の夢や目標について考え、自ら学ぼうとする生徒を、全職員で育てていきたいと思ひます。そして、生徒が自ら学ぶことの大切さに気付き、自己の進路実現のために努力できる生徒を、保護者・地域と学校が協力して育てていきたいと考えています。

今後も、誰一人取り残さない教育環境の実現に、全教職員一丸となって取り組んでまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

上越地区の進学情報

以下の表は、上越地区（上越・糸魚川・妙高市）にある高等学校等の令和7年度の入学試験情報です。すでに、私立高校の1月入試（専願・併願）、2月入試（専願・併願）は終了しています。高等学校等就学支援金制度が導入されたことや、部活動が活発で各種大会・コンクール等で顕著な成績を収めていたり、教育設備や環境が充実したりしていることから、近年、私立高校の人气が高まっており、受験者数が大変多くなっています。当校でも、私立高校を第1志望とする生徒が以前より増えているだけでなく、県立高校を第1志望とする生徒のほとんどが、私立高校の1月入試を併願受験している状況です。

令和7年度県立高校入試の出願状況（倍率等）は2月19日に公表されます。上越地区の県立高校は、雄志中学校区の生徒にも比較的通いやすい高田エリアに集中しており、例年、高田エリアの学校は人気があります。その反対に、交通の便が悪い学校は、定員を割ることがあります。しかし、大切なことは、現状の学力で合格できる学校や通いやすい学校に進学するのではなく、将来の自己実現のために入学したい学校に進学できるように努力することです。そのためにも、将来どのような職に就きたいか、どのような人生を送りたいかをしっかりと考え、高校の特色等をよく知った上で進路を選択することを期待します。

種別	学校名	学科	募集学級・人数		特色等
県立・全日制	高田	普通	5	200	毎年、多くの卒業生が大学に進学
		理数	1	40	文部科学省指定の Super Science High School
	高田北城	普通	4	160	毎年、多くの卒業生が大学に進学
		生活文化	1	40	2年次から「食物コース」「福祉コース」
	高田農業	農業	4	160	2年次から「生物資源科」「食品科学科」「農業土木科」
	上越総合技術	工業	5	200	2年次から「機械創造工学科」「電気情報科」「建築環境科」「土木防災科」
	高田商業	総合ビジネス	3	120	会計・情報処理・ビジネスに関する専門科目を学習
	有恒	普通	1	40	小規模校、地域に根ざしたキャリア教育
	新井	総合	3	120	グローバル(Global × Local)人材育成
	糸魚川	普通	3	120	地域との協働による高等学校教育改革推進事業校
県立・定時制	高田南城	普通(午前)	2	70	単位制、3年以上在籍して必要な単位を取得
		普通	若干人		面接授業(スクーリング)と報告課題(レポート)
私立・全日制	関根学園	普通(アドバンス)	1	40	大学受験に対応したカリキュラム
		普通(キャリア)	5	200	2年次から進路希望別、習熟度クラス
	上越	普通	5	200	「グローバル特進コース」と「普通コース」
特別支援学校	吉川	普通	1	10	特別支援学校の普通科は、上越地区の4校合同(高田学区)で入学検査を実施して入学者を選考し、通学の利便性及び自力通学の可否を考慮して受入校を決定。(普通科以外の学科もあります)
	高田	普通	1	10	
	高田(白嶺分校)	普通	1	10	
	上越(有恒学舎)	普通	2	20	

*「高等学校等就学支援金制度」の詳細については、文部科学書のホームページでご確認ください。

*各校の特色等については、各校のホームページの「ハイスクールガイド」でご確認ください。

*令和8年度以降の募集学級・人数は、変更となる可能性があります。

3月の主な予定

5日(水) 公立高校一般学力検査 *合格発表…13日(木)

6日(木) 卒業式予行・準備

7日(金) 卒業式 (給食なし・午前放課)

12日(水)～14日(金) 2年生修学旅行(大阪、京都、奈良)

17日(月) 後援会総会

19日(水) 公立2次学力検査 *合格発表…21日(金)

24日(月) 3学期終業式 (給食後下校・放課後活動なし)

25日(火) 離任式



<昨年度の修学旅行の様子>